

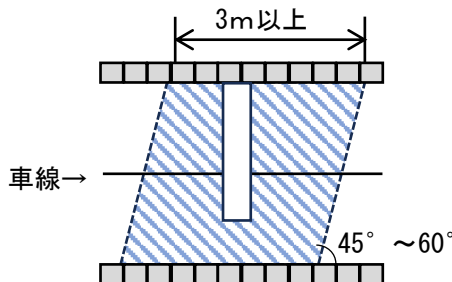
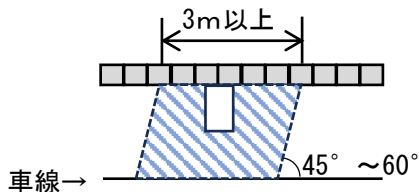
# 舗装復旧指示要領

2023.12.15 建設課管理係作成

## ●復旧幅 【町道】

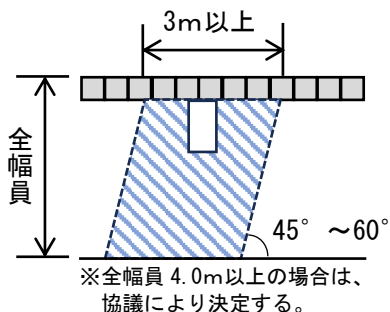
### (1) 車線区分のある町道

車線区分までの復旧かつ3m以上  
45°～60°の角度をつけて復旧



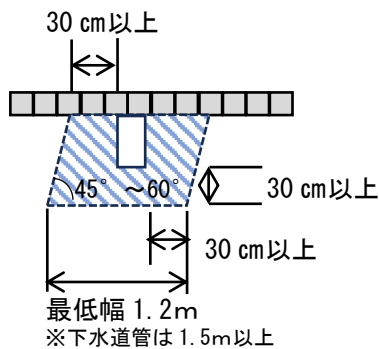
### (2) 一般町道

#### ① 舗装工事後3年未満の町道



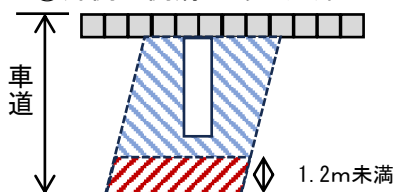
#### ② 一般町道

掘削面から影響幅をとり復旧  
※影響幅の考え方は下図のとおり

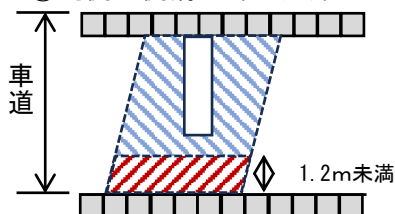


### (3) 影響幅確保後の残存幅員が1.2m未満の場合、残存部分も含めて復旧

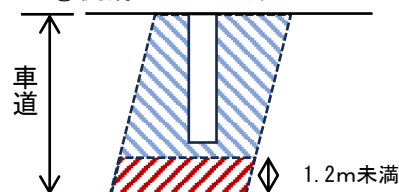
#### ① 片側に側溝がある道路



#### ② 両側に側溝がある道路

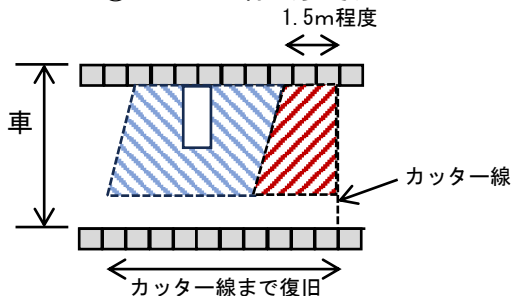


#### ③ 側溝がない道路

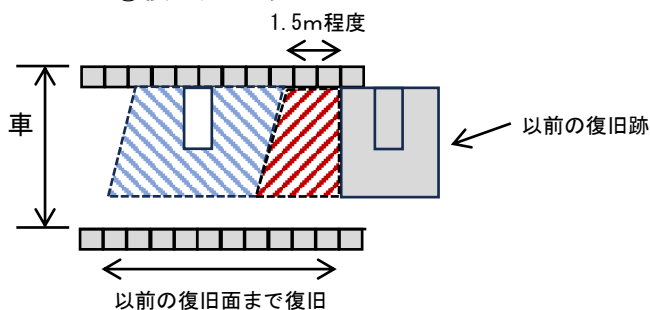


### (4) 付近にカッター線や復旧面が1.5m程度内にある場合

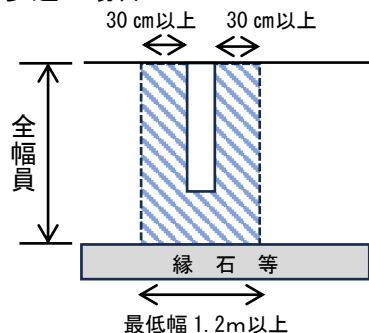
#### ① カッター線 (参考)



#### ② 復旧面がある



### (6) 歩道の場合

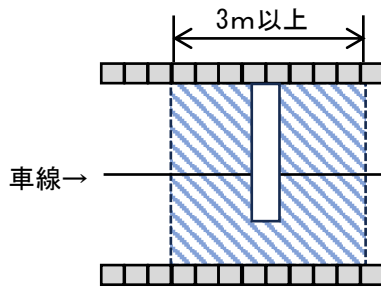
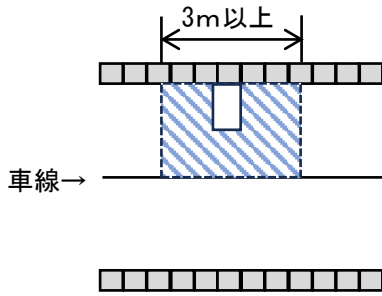


【町道以外】

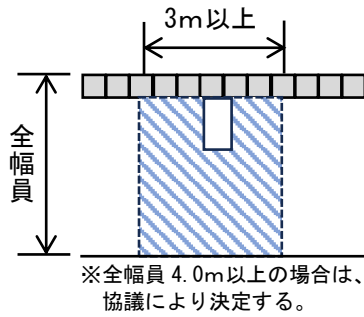
(原則) 掘削面から影響幅をとり復旧 ※影響幅の考え方は下図のとおり

(1) 車線区分がある場合

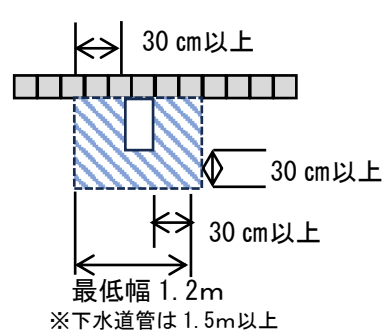
車線区分までの復旧かつ3m以上



(2) ①舗装工事後3年未満

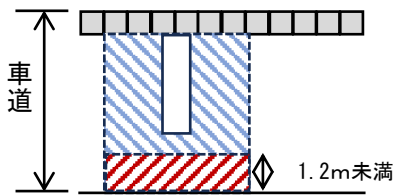


②舗装工事後3年以上

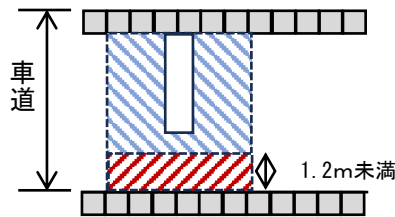


(3) 影響幅確保後の残存幅員が1.2m未満の場合、残存部分も含めて復旧

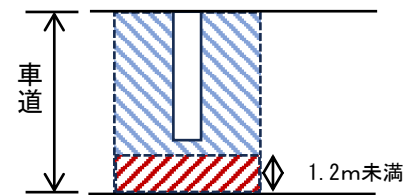
①片側に側溝がある道路



②両側に側溝がある道路

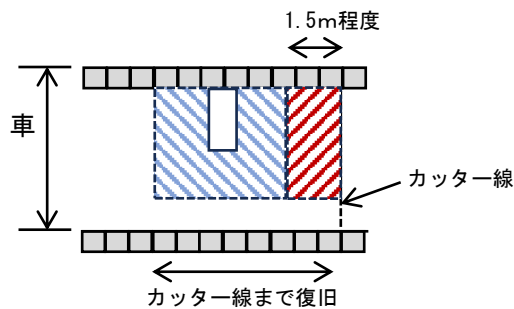


③側溝がない道路

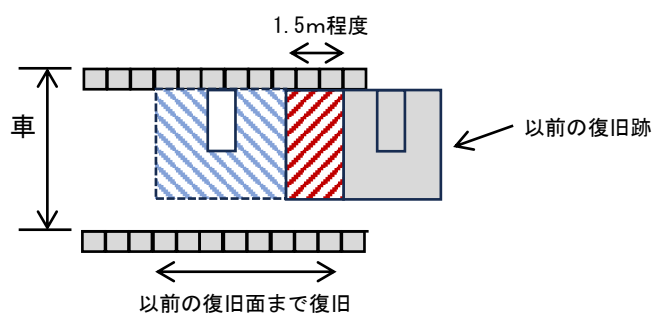


(4) 付近にカッター線や復旧面が1.5m程度内にある場合

①カッター線 (参考)

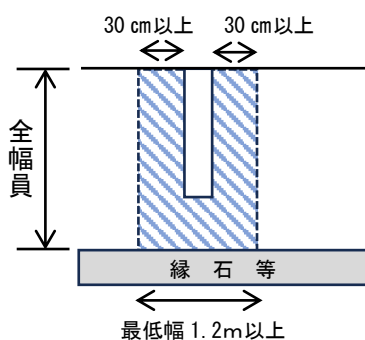


②復旧面がある場合

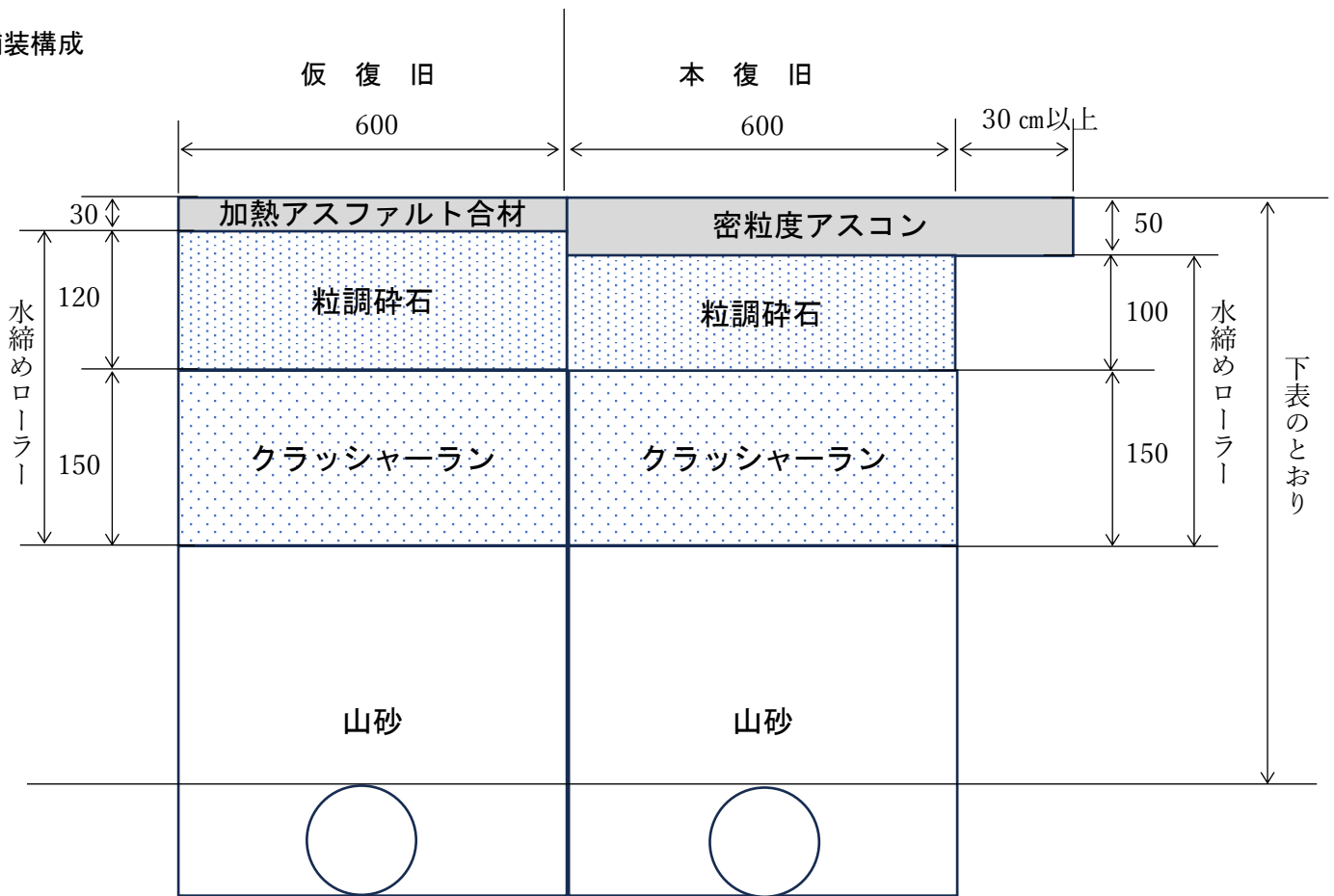


(5) 歩道の場合

●町道と同様



●舗装構成



(表) 埋設管の頂部から路面までの距離について (道路法施行令第 11 条の 3 及び 4)

	【原則】	【やむを得ない場合】	左記より浅くなる場合は保護対策を行うこと。
水道管	1.2m超	舗装+0.3m超 (最低 0.6m超)	
ガス管	1.2m超	舗装+0.3m超 (最低 0.6m超)	
下水道管 (本線以外)	1.2m超	舗装+0.3m超 (最低 0.6m超)	
下水道管 (本線)	3.0m超	舗装+0.3m超 (最低 1.0m超)	

※個人申請は、各担当課へ確認すること。